



第1回Bio-Symposiumの報告

平成29年3月26日(日)にConvention Room AP新橋虎ノ門にて第1回 Bio-symposiumを開催いたしました。

今回は、Dermatology & Rheumatologyという副題の通り、皮膚科分野とリウマチ科分野の先生に最近の診療のトピックスについてご講演をいただきました。

まず、西岡理事長が「各科にまたがる難病治療の現状と対策」と題して、今回のシンポジウムの目的と今後の難病治療における診断、治療効果が見込まれる生物学的製剤(バイオ製剤)について解説をいたしました。

第1部は「脊椎関節炎の病態と治療」について、大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学の富田哲也准教授にご講演をいただきました。鑑別が難しいとされている脊椎関節炎の病態、診断方法、治療方法について臨床の第一線におられる先生ならではの解説をいただきました。



第2部は「バイオ製剤による難治性皮膚疾患治療のトピックス - 乾癬治療“温故知新” - 」と題して、三重大学医学部皮膚科の水谷仁教授にご講演をいただきました。乾癬に適応されているバイオ製剤各種を用いて治療をされた臨床症例の治療前後の写真を用いた興味深いご講演でした。

第3部の「総合討論」では、座長である西岡理事長、演者の富田先生、水谷先生が、フロアの皆様と診断のポイント、治療薬の選択、治療効果などについてディスカッションを行いました。また、実際に患者様と接している看護師、薬剤師より患者様への対応のポイントなどについての質問もありました。



次回のBio-Symposiumのご案内は本財団ホームページにてご案内いたします。

一般財団法人難病治療研究振興財団 事務局

〒100-0013東京都千代田区霞が関1-4-1日土地ビル1階

電話:03-3580-8532 FAX:03-3580-8533 E-mail:info@jmrf-nanbyou.org

URL: <http://www.jmrf-nanbyou.org/>

本紙を許可なく転載することを固くお断りいたします